

平成14年度漁業生産の担い手確保育成事業実施状況

瀬底正武

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協力者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
一担い手育成関連 1) 交流学習会 (組織活動と若壮年部の役割)	11月 5日	知念漁協会議室	漁協若壮年部	水産研究員	漁協若壮年部巡回移動相談と交流学習の合同会議を開催した。 沖縄県農林水産部営農推進課主任専門技術員本村隆信氏に「組織活動と若壮年部の役割」と題して、講演と若壮年部との意見交換を行った。当日は、徳川漁協若壮年部との合同の移動相談を行う予定であったが、同若壮年部は急遽参加できず知念漁協若壮年部のみの参加となった。 平成14年度実施計画の移動相談内容について開催しているが、若壮年部からの要望、活動の実態等に併せて開催する場合もあるため計画とは若干異なる場合もある。例えば、移動相談と交流会をセットインテグして開催する場合や講習会等とのセットインテグもある。	平成14年度に若壮年部等の実施調査を実施したが、記述内容に不備が多く見られたので、15年度も継続的に担当業務、担当者普及員間で意見交換しながら内容の充実を図りたい。
2) 漁協若壮年部巡回移動相談 (若壮年部の活動の支援・情報提供及び意見交換)	7月26日 11月 5日 12月 7日 12月11日 2月27日 3月19日 3月20日	恩納村漁協 知念村漁協 久米島漁協 伊良部町漁協 沖縄市漁協 与那国町漁協 八重山漁協	青年部 若壮年部 若壮年部 若壮年部 青年部 若壮年部 若壮年部	漁協 漁協 漁協 漁協 漁協 漁協 漁協	若壮年部巡回移動相談は普及活動の中で唯一若壮年部と年1回巡回し意見交換する場であり、出来るだけ毎年継続したい。 内容については、現場の意見等聞きながら幅広く対応したい。一つのテーマに絞ってしまうと息詰まってしまう後が嫌かなくなる。移動相談全日程終了後は総括会議(部長事務局長会議)を開催し若壮年部間の交流を図りたい。	平成15年度は移動相談の持ち方、見直し等検討したい。
3) 第6回 シンポジウムの開催 (沖縄県における水産物流通の現状と課題)	9月25日	水産会館	若壮年部、市町村、各種団体、関係機関等	漁連・水産課	「沖縄県における水産物流通の現状と課題」について、(沖縄地域网絡ネットワーク社の上原政幸氏をコーディネーターに、それぞれのパネリストの立場で意見を述べてもらうとともに、フロアの皆さんと意見交換しあい、新しい時代に即応した水産物流通のあり方についてパネリストカスションを行った。参加者は、115名であった。 1. 基調講演 上原政幸 (沖縄地域网絡ネットワーク社 発行者) 2. コーディネーター 上原政幸 3. パネリスト 上原亀一 八重山漁協代表理事組合長	平成15年度は移動相談の持ち方、見直し等検討したい。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協力者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
4) 沖縄県・青壮年女性漁業者 交換大会開催 (第8回)	1月15日	水産会館	青壮年部・婦人 部研究グループ 漁業関係者等	系統団体・関係漁 協・市町村・農政 普及センター	<p>当山 清 沖縄鮮魚卸流通協同組合理事 新城 武 久米島漁協参事 松沢正明 大日本水産会企画課長兼おさかな普及協議会事務局局長</p> <p>沖縄県に於ける漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループの自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的に、同大会が開催された。また、漁業士の平成14年度認定授与式が、同大会の席上で行われた。詳細普及だより54号に掲載</p> <p>1. 実績発表課題及び発表者</p> <p>1) 羽地漁協区域における漁場環境 羽地漁協モズク養殖生産部会……………名嘉 供正</p> <p>2) わった一島ぬ特産品開発 波名喜村漁協青壮年部会……………上原 一彦</p> <p>3) 女性部活動と漁協の連携 伊平屋村漁協女性部……………新垣 仁美</p> <p>4) 「体験発表」インターンシップ報告「パヤオ操業を体験して」 沖縄県立水産高等学校……………前原一太・仲田孔志</p> <p>2. 水試情報 マグロのヤケ対策について……………太田 格</p>	<p>審査の結果、「わった一島ぬ特産品開発」と題して発表した波名喜村漁協青壮年部の上原一彦氏が最優秀賞に輝いた。 参加者150名</p>
5) 本島地区若い漁業者確保推 進会議開催 (第1回)	10月18日	普及センター	推進委員	水産課	<p>本県の沿岸漁業を将来的にわたって安定的な発展を図るためには、次代を担う若い漁業者の育成確保は最も重要な課題である。 このため、普及指導活動においては漁業団体、市町村等関係機関との連携のもとに漁業後継者育成確保のための、普及活動を推進している。先般、本島地区の第1回推進会議が行われた。</p> <p>1. 会議内容 (第1回)</p> <p>1) 平成15年度漁業生産の担い手確保育成事業計画検討 2) 平成14年度漁業生産の担い手確保育成事業進捗状況 3) 平成13年度漁業士会活動状況及び14年度計画 4) 平成14年度青壮年・女性漁業者交代大会予定候補者検討 5) 平成14年度青壮年部巡回移動相談実施状況 6) 平成14年度中核的漁業者協業体育成事業進捗状況 (新規) 7) 重点普及課題の設定及び各課題の進捗状況 (中間報告)</p> <p>2. その他</p>	<p>1) 活動実績報告について 報告時間短縮のため、事前に報告資料を委員に発送し、委員会当日意見等求める。</p> <p>2) その他、委員との意見交換については、あらかじめ、事務局でテーマを設定する。 事務局は全体の意見を採約し、事業推進に当たっての参考とする。</p>

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
6) 沖縄県及び本島地区若い漁業者確保推進会議開催(第2回)	3月25日	普及センター	推進委員	水産課	<p>1. 会議内容(第2回)</p> <p>1) 平成14年度漁業生産の担い手確保育成事業実施状況</p> <p>2) 平成15年度漁業生産の担い手確保育成事業計画</p> <p>3) 平成14年度漁業士会活動状況及び15年度実施計画</p> <p>4) 平成14年度若年・女性漁業者交換大会及びシンポジウム実施状況</p> <p>5) 平成15年度若年・女性漁業者交換大会実施計画</p> <p>6) 平成14年度中核的漁業者協業体育成事業実施状況及び平成15年度実施計画(検討中)</p> <p>7) 重点普及課題の設定(平成13年度～15年度)実施状況</p> <p>2. その他</p> <p>*若年若年・女性部活動について(意見交換)</p> <p>*漁協若年若年部等実施調査について</p>	<p>3) 重点普及課題について活動実績報告を当日の会議から外すことから重点普及課題については、若干時間をとり説明することが平成14年度委員会申し合わせ事項である。</p>

平成14年度漁業士会活動実績報告

城 間 一 仁

課 題	実 施 時 期	実 施 場 所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
ニライ15号魚類集調査	5月21日	宮古支部		伊良波清世	・ニライ15号の視察と魚類集調査に伊良波町漁協伊良波清世指導漁業士が参加した。	
漁業士会八重山支部総会	7月28日	八重山支部	八重山支部漁業士	八重山支庁	・漁業士会八重山支部総会を与那国にて開催した。平成13年度実績と平成14年度活動計画について検討した。	
漁業士会宮古支部総会	7月28日	宮古支部	宮古支部漁業士	宮古支庁	・第6回漁業士会宮古支部総会で平成14年度の宮古地区漁業士会の活動計画を検討。	
漁業士会北部支部総会	7月30日	本部漁協	北部支部漁業士	普及センター 本部駐在	・平成13年度活動実績と平成14年度活動計画についての報告がなされ、「九州北部視察報告」、「平成14年度普及センター活動計画」について情報提供された。また、今後の漁業士会活動に関する意見交換もなされた。	
マグロヤケ対策事業	6月 ～11月	宮古支部 中南部支部	宮古支部漁業士 中南部支部漁業士	伊良波清世 安谷屋秀喜	・平成14年度マグロヤケ対策事業に、伊良波清世指導漁業士が協力し、その方法を応用して糸満漁協安谷屋秀喜青年漁業士に調査を依頼した。	
漁業士会中南部支部総会	8月 1日	普及センター	中南部支部漁業士	普及センター	・平成13年度事業報告及び収支決算報告承認、平成14年度事業計画案及び収支予算案の承認を行った。	
沖縄県漁業士会総会	8月 1日	普及センター	沖縄県漁業士	県漁連 信漁連 漁船保険	・平成14年度沖縄県漁業士会総会を開催。平成13年度事業報告及び決算報告、平成14年度事業計画案及び収支予算案がそれぞれ承認された。総会終了後、水試・普及センター情報及び漁業士による視察報告がなされた。	
漁業士九州ブロック研修	8月19日 ～20日	長崎県佐世保市	各県漁業士	長崎県	・長崎県にて行われた漁業士九州ブロック研修会に沖縄市漁協与那嶺強指導漁業士、平良市漁協磯保正司指導漁業士が参加した。ハネルディスプレイションでは「地域における水産物流通・価格改善の取組」というテーマで急遽こられた八重山漁協池田元指導漁業士の原福を儀保氏が代読した。	
少年水産教室	10月21日	知念村	中学生	照喜名 智	・知念中学校2年生11名が知念村漁協照喜名智青年漁業士の協力で少年水産教室を開催した。定置網漁業体験とセリ市場の見学を行い、昼食は婦人部の協力で魚汁、刺身を食べて閉校した。	

課 題	実 施 時 期	実 施 場 所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
中核的漁業者協業体事業視察	10月22日 ～24日	山口県須佐町	中南部支部 北部支部	山口県	・山口県須佐町においてイカの鮮度保持に協業化して取り組んでいる1本釣り船団の視察に亘野座村漁協島袋博幸青年漁業と与那城町漁協仲門徳和青年漁業士が参加した。イカを活魚で販売する施設設備や販売に関する調査、販売促進活動を行っていた。	
少年水産教室	10月31日	具志頭村	小学生	上原秀 港川漁協	・具志頭小学校2年生83名を対象に港川漁協にて開催。港川漁協上原清秀指導漁業士によるバヤオ・ソデイイカ漁業についての説明のほか、マグロの解体・試食会を行った。同教室終了後、児童生徒による作文が提出された。	
青年漁業士養成講座	11月15日 ～	普及センター	青年漁業士候補者	上原佑強 我部政祐 普及センター	・青年漁業士養成講座に糸濱漁協上原佑強名譽漁業士、本部漁協我部政祐指導漁業士、瀬底センター長、與那嶺専技を講師として青年漁業士候補の仲与志勇氏、龍見富男氏が参加した。オプザーバーとして指導漁業士候補の名嘉治市氏も受講した。	
漁業士認定	1月15日	沖繩県庁	認定審査委員	漁協・市町村	・青壮年・女性漁業者交換大会において、本部漁協の我部政祐氏が名譽漁業士に、伊是名村漁協の名嘉治市氏・知念村漁協の照喜名智氏が指導漁業士に、伊平屋村漁協の龍見富男氏・久米島漁協の仲与志勇氏が青年漁業士にそれぞれ認定された。	
中南部支部漁業士交流会	3月10日	久米島	中南部支部	伊良波淳世 海洋深層水研究所	・久米島において中南部支部漁業士交流会を行った。海洋深層水研究所を視察した後、漁協会議室において、宮古支部より伊良波淳世指導漁業士を迎えマグロヤケ対策について意見交換を行った。	
北部支部漁業士交流会	3月19日	恩納村	北部支部	水産試験場	・平成14年度活動状況の報告と平成15年度活動計画について検討がなされた。平成15年度支部総会における役員改選のための支部長候補が本部漁協副花喜和指導漁業士、副支部長候補が名嘉治市指導漁業士に決定した。	
介類養殖生産者会	3月20日	産業交流センター	介類養殖生産者	池田 元	また、水試龍見里主任研究員よりオゴノリ類の養殖研究について情報提供がなされた。	
					・沖繩市にて行われた介類養殖生産者会に八重山支部より池田元指導漁業士を招き、シャコガイの養殖についての報告を行った。	